

「楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力になる」が私たちの合言葉。
みんなの歌声で、様々な支援活動を実現中!



1: スリランカ/内戦終戦を迎えたスリランカで裁縫技術訓練!

北東部女性自立支援裁縫プロジェクト

(提携:NGO TECHJAPAN)

スリランカでは、2004年12月のスマトラ沖地震による津波で多くの人々が家族を失い、家を失い、職業を失いました。特に北東部は25年間続いた内戦によって荒廃し、夫を失った女性たちや親を失った子どもたちが今も苦しい生活を強いられています。こうした人々が経済的に自立できるよう、**北東部の町トリンコマリに職業訓練を目的とした縫製工房を開設しました。**NGOゴスペル広場の支援金でスタートしたこのセンターでは、私たちのオリジナルデザインのスカートを作成する「LADY TRINCO」プロジェクトも始まっています。



[写真]
2008年10月、ゴスペルの支援でオープンした、北東部トリンコマリ縫製工房のオープニングセレモニーにて。

- ☉「Charity Gospel Marathon2008」(08年5月)の収益金80万円でトリンコマリに縫製工房をオープン
- ☉2008のゴスペルスクエア会費から92,168円を運営資金として送金
- ☉「第一回GOSPEL FOR PEACE」(09年4月)から73,830円の支援金を送金
- ☉2009年のゴスペルスクエア会費から25万円をスカートプロジェクト資金に

2: ラオス・カンボジア/東南アジアの貧困家庭の子どもを学校へ!

奨学金プロジェクト

(一般財団法人 国際センター)

ラオスでは、農商部の小学校卒業率は20～40%。家族の収入が少なく労働力として必要とされるため、学校で勉強を続けたくても中退を余儀なくされてしまう子どもが大勢います。カンボジアでは、ポルポト時代の虐殺や度重なる内戦から国土も人心も荒廃し、未だに貧困ゆえ小学校卒業率が1割にも満たない村もあります。1人の子どもの1年間学校へ通うために必要な奨学金は、1万円。現在**ラオスで17人の小中学生、カンボジアで10人の小学生が、私たちの奨学金で学校へ通っています。**



[写真]
私たちの奨学金で学校に通う奨学生たちの一部。一年前の写真と比較すると、成長の様子がわかる。

- ☉2008年のゴスペルスクエア会費からラオスに奨学生13名誕生
- ☉「Gary Hines Gospel WS」(08年11月)から100,000円の奨学金送金
- ☉「第一回GOSPEL FOR PEACE」(09年4月)から66,275円の奨学金送金
- ☉2009年サニーサイド会費からカンボジアに奨学生10名誕生
- ☉2009年ゴスペルスクエア会費から18万円の奨学金を送金予定

3: ネパール/地域病院の活動を支える!

地域病院支援プロジェクト

(提携:特定非営利活動法人 ChildFund Japan)

ネパールで特に母親の出産死亡率が高い10郡の中に入るオカルドゥンガ郡では、18万人という人口を1つの病院が支えています。年間の患者数は27,000人、出産件数も300件近くこのほりです。また周辺の11の村落で、子どもたちへのはしかやBCGなどの予防接種、学校への駆虫剤の配布、住宅へのトイレ建設などの地域保健活動も行っています。NGOゴスペル広場ではこの病院の医療活動を支援するために2010年2月現在までに19万円を寄付。このお金は**結核患者の体力をつけるための食事お米1600キロ・卵2000個の材料費と、看護師などの研修にかかる費用に相当します。**



[写真]
18万人を守る病院の医師と、診察を受ける子どもたち。左の少女は結核を患っており、父親が山道を3日かけて運んできた。

- ☉2008年ゴスペルスクエア会費から107,832円の支援金を送金
- ☉「第一回GOSPEL FOR PEACE」(09年4月)から83,460円の支援金を送金
- ☉2009年ゴスペルスクエア会費から8万円の支援金を送金予定

4: セネガル/アフリカの子どもたちに教育を!

小中学校支援プロジェクト

(提携:バオバブの会)

横浜在住のセネガル人マサンバさんが、母国への里帰りでの小学校の貧しさを目の当たりにし、日本の友人に支援を呼びかけたことから始まった活動。支援内容は、学校の教室増設、衛生設備、図書館の建設、学用品購入のための資金援助など。現地の多くの学校では、1冊の教科書を3人で使ったり、ひとつの教室を3つの学年で使ったりしています。支援を受けた小学校では、中学進学試験で合格者が4倍ほどに増えたという報告も。NGOゴスペル広場ではこの活動を支援するために**横浜と津(三重)で「Dream Gospel Workshop」を開催、収益金10万円でセネガルの子どもたちに学用品がプレゼントされました。**



[写真]
バオバブの会からの支援にお礼の言葉を見せるセネガルの子どもたち(左)。横浜でのDream Gospel Workshopで話をするマサンバさん(右)。

- ☉「Dream Gospel Workshop in三重&横浜」(09年7月)から106,800円の支援金を送金
- ☉2009年ゴスペルスクエア会費から8万円の支援金を送金予定

「Unity」CDプロジェクト 1,500枚でケニアに井戸を!

(提携:特定非営利活動法人 International Water Project)
2010年1月、オリジナルCD「Unity」全国発売開始!
1500枚の販売収益でケニアに井戸用のポンプをひとつプレゼントできるチャリティー企画。
黒人ゴスペル歌手シャニータ、ウィンセント、および政井マヤアナウンサーも特別参加。
Amazonでも好評発売中!!



～その他～
サニーサイド横浜での「Piece Cardプロジェクト」、三重、長野でのベナン学校給食プログラムを支援するチャリティーワークショップ開催など、各地のサニーサイドゴスペルクラブで独自のチャリティー企画も生まれました♪

NGOゴスペル広場の国際協力活動
**2008年5月から
2010年2月現在までの
支援総額**

2,287,265円

(左記のサニーサイド独自企画を含む)

ご協力ありがとうございました!

2008年
5月

Charity Gospel Marathon 2008

2008年5月17日 SYDホール(代々木)

NGOゴスペル広場の第一弾企画は、「200人で5時間ゴスペルを歌って、スリランカに職業訓練センターを贈ろう」というチャリティーイベント。2人の日本人ゴスペルアーティスト、Bee 芦原さん、Bro. Taisukeさんをゲスト講師に、政井マヤアナウンサーを司会に迎えて開催。イベント参加者からは「大好きなゴスペルを歌うことでチャリティーもやっていることになるなんて、こんなステキなことはないです!」という感想も。収益目標の80万円を達成し、同年10月に縫製工房がオープンしました。



6月

GOSPEL SQUARE 渋谷にオープン

2008年6月～ 渋谷

誰でも気軽にゴスペルを歌いに来れる場所、をコンセプトとしたゴスペルスタジオを渋谷にオープン。日本人インストラクターの他、本場NY出身のゴスペルシンガーから習えるプログラムも用意。平日午前、平日夜、土曜午後という複数の時間帯で、好きなペースで好きなプログラムに通えるチケット制が好評です。10代から60代まで様々な職業の方々が、歌って「思いを発散」しようと集まっています。



7月
9月
10月

- 丸ビルLIVE (7/13 他)
- 「Japan Gospel Festival」開催・出演 (9/6)
- スリランカ縫製工房オープニングセレモニー (10/9～16)

11月

Gary Hines Gospel Workshop

2008年11月2日 SYDホール(代々木)

3度のグラミー賞受賞歴を持つ本場のゴスペルアーティストGary Hines氏を米国から招き、ゴスペルを習うワークショップを行いました。4人の日本人ゴスペルシンガー市岡裕子さん・Bee 芦原さん・Bro. Taisukeさん・黒澤まりさんもゲスト出演。当日は様々なゴスペルグループの方やスクールに通っている方、初心者の方など約150名が参加。収益金がラオスの小学生10人分の奨学金になりました。



2009年
2月

Sunnyside Gospel Club 横浜&三重

2009年2月～ 横浜(神奈川)、津・四日市・伊勢(三重)

GOSPEL SQUAREと同様の活動を自分もしたいと立ち上がった2人のメンバー、服部まりこさん(現横浜リーダー)と小西生峰さん(現三重リーダー)を中心に、支部の活動サニサイドゴスペルクラブがスタート。月3500円のフリーパス制。様々な年齢の人が集い、ファミリーのようなアットホームさが魅力のゴスペルクラブとして成長しています。(三重は同年10月に伊賀でも開始。)

3月

- 東京大マラソン祭り2009出演 (3/22)
- Nana Gentle Gospel Workshop in 三重 (3/24)

4月

第一回GOSPEL FOR PEACE

2009年4月11日 こまばエミナーズ

GOSPEL SQUAREとSunnyside Gospel Clubによる、初の合同チャリティーコンサート。後半のワークショップでは、このイベントに合わせてNanaが書き下ろしたオリジナル曲「Unity」を会場全体500人で大合唱。3つの国際協力団体がブース出展し、参加費に含まれる100円の「GP貯金」(寄付金)プラス任意の追加寄付で、合計223,565円の寄付金が生まれました(各団体への金額は表面参照)。



7月

Dream Gospel Workshop

2009年7月 横浜、三重

NY出身ゴスペルシンガーVincent(ヴィンセント)さんとゴスペルを歌い、その参加費の一部がセネガルの小学校の教育支援費になるチャリティー・ワークショップ。横浜と三重を合計して、106,800円の支援金が生まれました。



8月

9月

- Piece Card Project in 横浜 (8/1)
- 間寛平アースマラソン「エオラスの詩」プロジェクト (8月)
- セプテンバーコンサート 出演 (9/13)

「Unity」合同レコーディング

2009年9月23日 新宿文化センター 小ホール

第一弾チャリティーCD企画「Unity」の合同レコーディングを新宿で開催。GOSPEL SQUAREおよびSunnyside Gospel Club横浜、三重から合計190人が集結しました。CD「Unity」は翌1月21日に全国発売となり、1500枚の販売でケニアに井戸用のポンプをひとつ寄贈することができます。



10月

- Run For The Cure 出演 (10/17)

Sunnyside Gospel Club 立川&町田

2009年10月～ 立川(東京)、町田(東京)

GOSPEL SQUAREメンバーの一関加奈子さん(現町田リーダー)と望月ひろみさん(現立川リーダー)により、町田と立川で新たにSunnyside Gospel Clubがスタートしました。

ChorusBridge International 2009

2009年10月11日 立川

初の国際交流イベントを立川で開催。十数人の在日外国人を迎え、昭和記念公園で約60人での盛大なBBQパーティーの後、国際平和をテーマにした

「Unity」英語版を皆で練習&レコーディングしました。



- GOSPEL SQUARE WORKSHOP in 長野 (10/25)

2010年

1月
2月

- 九州大学「起業家セミナー」で代表Nanaが講演 (1/22)
- Sunnyside Gospel Club長野スタート (2月～)

※その他にも老人ホーム・高校・幼稚園訪問ライブ、ジャズフェスティバル、レストランChristmas Liveなど出演イベント多数!

渋谷のGOSPEL SQUAREは現在メンバー数約500名。
Sunnyside Gospel Clubは全国8拠点、メンバー総数約350名。
初のオリジナルCD「Unity」CDが1月21日全国発売開始。
“Sing in Unity, Live in Peace”の精神で、
今年もゴスペルx国際協力の輪が広がっています♪

私たちの活動が、様々なメディアに取り上げられました!

- Misaki (女性誌)
- 魂の仕事人 (Web)
- ソトコト (ロハス雑誌)
- Graceful Days (美容健康専門誌)
- メトロポリス (英字誌)
- 朝日新聞